



名家
畫譜

州

名集

秋之部

名家
畫譜
州
名集

秋之部



序

詩書中華乃詩中之家
國の詩あり平以抑也
詩を由不坊

子とてしよとてしよはとらふ
相とてのらむとてらむとて
志とのたむとてらむとて
かとのあめとてらむとて
はとのあめとてらむとて
ろのあめとてらむとて
のあめとてらむとて



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a fluid, connected style across several lines.



あしこの花に
あけそも
みよのち
たよ

朝霧花
あはれ
あしこの花の

あつ
あつ
あつ

朝霧花
あはれ
あしこの花の

朝霧花
あはれ
あしこの花の

あはれ
あしこの花の

あはれ
あしこの花の

あはれ
あしこの花の

あはれ
あしこの花の

朝霧花
あはれ
あしこの花の

朝霧花
あはれ
あしこの花の

あしこの花に

あしこの花に

あしこの花に

紫のうす
葉のうす
ゆえはまけ
またり

杜牧

蘭の香ふま
ま
さしりあま
海路

香月の
西しゆ
白ゆき
紫のうす
有車

夕暮れ
風う
さし
ら子
の香
花山

香
葉
山
月
香
ら子
の香
けい
花
山

水籬の
籬あ
さしの香
芝洞

蘭の香ふま
ま
さしりあま
海路

新音轉



ものうす
葉のうす
ゆえはまけ
またり
紫のうす
葉のうす
ゆえはまけ
またり
紫のうす
葉のうす
ゆえはまけ
またり

花南
の池
和湖



葉鶏頭
鳳来紅
力心花

小舟... 和湖
 松山... 津
 宗... 根
 一... 十
 赤... 十
 三... 好
 佛... 山
 金水



茶花
 雄濁

女名茶

川... 和湖
 久... 白
 八... 浦
 掛... 山
 紫黒
 左節



久大花

花烟4
若々六
新冬コ

煙の目
ちめり
さよ

花
故 凶尖

煙子好くえこれ煙見く好く好く好く
見多る子此中の死すややたえこ
左掲

瘦く
中
花あり

人の氣

こころ高

大豆

花

香

四
猫や
煙子此
たれも
葛く
花
括



青瓢種瓢長瓢
千ナリ百ナリ

保比日の古子影あり
こま影より長ほし
月影子より長ほし
とん形子より長ほし
未結
ふん

真
棠
九
林
山
步
雀



おけさ
ほ
抱
西
照
司
主
月

西
照
司
主
月

西

包
子
笑
二
形
山

古事記在都
等被至二八
阿波岐原ト云
ハハチノ水カクサ
ノリリノ知ナリ
カ便ニ玉ノ虫
ナリ功同ルカ
平田直史傳ニ
花ナリ

水カクサ
宿尾草
之ハキ
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ

草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ



草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ

草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ



草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ

草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ

草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ

草尾草
草ヨク
漏ヲ止ル
能アリユ
用也
又毒草ニク
コノクサヲ
諸合用ナリ

きんぎょの根の 花の

香よ佳きもの

根の 珊瑚珠茄子

珊瑚珠茄子

名子切しき

佳きもの

佛甲草



花も花も

花も花も

佳き

佛の爪

花の

珊瑚珠茄子
ハナスヒ
サユコナス



花の 葉の 葉の 葉の

花の 葉の 葉の 葉の

花の 葉の 葉の 葉の

花の 葉の 葉の 葉の

花の 葉の 葉の 葉の

花の 葉の 葉の 葉の

花の 葉の 葉の 葉の



紫花
及中
鬼子

蜀黍
トウモロコシ

渡の赤や
竹の入るの
袖をなま



王黍
シロヤ
アカヤ

よのきい子
魚のこ
香のこ
蜀黍の畑
よのきい子
疲地乃
さまハ
なかり
お音が
きいの
不と
せむる
香乃
お音が
香のこ
黍粒の
あやこ
濁葉が
北山

紫蘇の實をふちくと
好乃蘇葉を
志ものこれ生
口れ小雨
そと色子その香
紫蘇ハ實とありぬ 風十

山にけおた在胡テ
る乃下り揚手秋甫
山麓乃谷ぬけ
あをぬ茶か子
楚山

在實
エコシ

紫蘇
香ハ蘇
シソノミ



左より子乃
 右より子乃
 ナニハ 蜂友

吹礼の子子
 ぬるハセ
 ぬるハセ
 可なり

留まらぬの
 産口乃

長毛	栗イ	唐イ	甘薯	又イ	蔓
子イ	子イ	子イ	子イ	子イ	子イ
毛	毛	毛	毛	毛	毛
長毛	山蓮	螺	吉	根	小
毛	毛	毛	毛	毛	毛



山の芋は色ハ赤
 芋の葉は紫
 芋の葉は紫
 芋の葉は紫
 芋の葉は紫

新古今

桔梗 苦蕒
 キキヨウ
 和名 阿利乃布木

軍令を
 あらや桔梗の
 切らく切ら

京都 菅野山

きり時一編
 冥く桔梗が三河可桃

曙の赤てしそあ色は菅野山
 柳子
 夕日
 月
 山
 井古
 楚山
 楚山
 楚山



澤山
 梗七菜

園のや梅海棠共
 花のちのち多し南泉
 梅は川のちぢふふれ
 秋海棠 北山
 花の子も胸のれ也
 梅海棠 北山
 標はまの科つ下屋し
 秋海棠 女屋云
 梅海棠月のまよ
 ひも眼のちう 一より
 白のちれちちうまぬ
 秋海棠 大道
 ちておのちにち東



秋海棠
子屋云

赤花のこ此小室乃小秋夜
 子の戸乃小室とみちうさうさ
 うさうさのちちのちをちうさうさ
 物の子も釣家やさうから
 赤うなれ好乃季子いるる
 鏡根りまけしちて至る
 美しこのちのちおち
 花のさくち中ちのちねち
 うさうさのち人ちおれち
 ち中ちのち牡丹ちりるる
 ちちちちちちちちちち
 ちちちちちちちちちち

点 蒼虬
 玉屑
 堀池
 有車
 御旗
 唐汀
 可遠
 玉阜
 北山
 茶部
 壺山



蕃椒
トウガラシ
ナンバン
天井守

ちちちちちちちちちち
 ちちちちちちちちちち
 ちちちちちちちちちち
 ちちちちちちちちちち
 ちちちちちちちちちち

芭蕉

白英
ホロシ
雪下紅
蜀半泉



四ツ五ツミツ子も 楚山
ちぎれきや下ぬ 塊翁
奥山のあつと 不りのきれ蔓



あいらるる山ハ花ハ
曼珠妙華 守り
あめくくくく
ちりきハのあられハ
曼珠妙華 花ハ
口の園ハうさハ
まんちきさる
つくくくくく
あめくくくく
東徳

曼珠妙華
石三三
シカカ
子リ

松茸や人子と
白鼻の先 故人志未

えをれ子れまら 菌
持母けま 三河牝角
人のあつと 出羽を橋
きつ子狩 小曾鹿子
本意あつと 徐英
岩茸やありうのあれぬ
あめたつ 月朗
人志未のあつとありぬ
きのよや乃 楚山
ふ子事あつと山名子
かこりくハハ馬

キノコ	初茸
キノコ	石タケ
キノコ	草タケ
キノコ	根タケ
キノコ	平茸
キノコ	蛇タケ
キノコ	猪茸
キノコ	杏露



青ハ子
キノコ
天狗
計
天狗
計

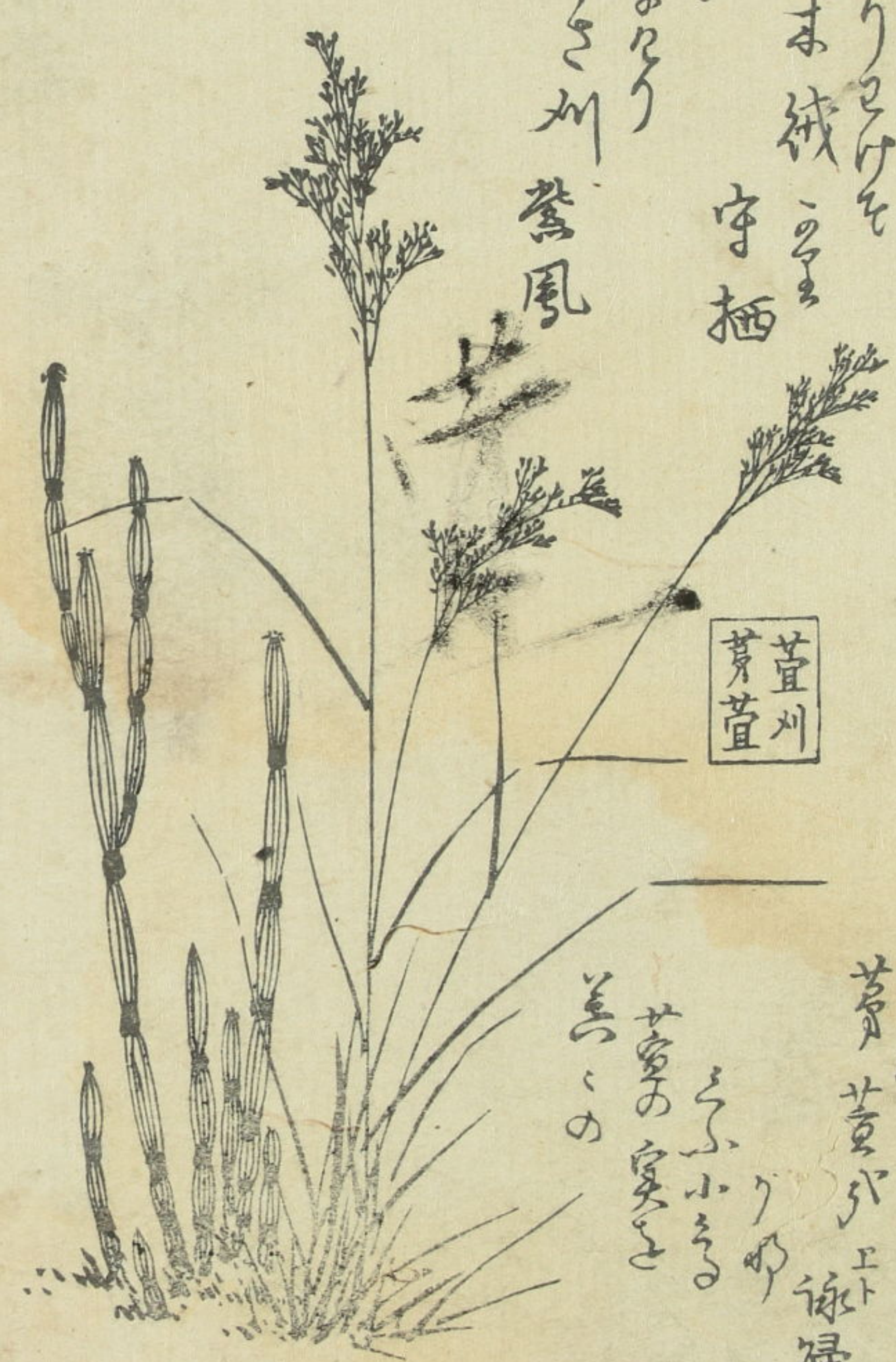
本意あつと 取末の子 大窪

持たれし蓮子かゝるやさうさ山^{イセ}湖朝
 本絨芥^{イセ}糸をたれし結さう家^{イセ}音石
 山^{イセ}の

仕業
 守極

磯研子^{イセ}
 州^{イセ}鶯風

こくさ
 うる
 月の
 楚山



萱川
 萱

楚山
 草^{イセ}萱^{イセ}式^{イセ}上^{イセ}詠^{イセ}婦^{イセ}
 美^{イセ}の

木^{イセ}川^{イセ}八^{イセ}
 公^{イセ}ト^{イセ}ヨ^{イセ}シ^{イセ}

王^{イセ}氏^{イセ}
 カ^{イセ}ス^{イセ}帝^{イセ}

蔓とつるま
 くれ^{イセ}て^{イセ}は^{イセ}此^{イセ}
 故人^{イセ}桂^{イセ}五^{イセ}

見^{イセ}ぬ^{イセ}あり^{イセ}の^{イセ}
 其^{イセ}江^{イセ}

夕^{イセ}家^{イセ}の^{イセ}赤^{イセ}い^{イセ}ま^{イセ}つ^{イセ}く^{イセ}や^{イセ}鳥^{イセ}氏^{イセ}
 月^{イセ}の^{イセ}あり^{イセ}ま^{イセ}う^{イセ}と^{イセ}王^{イセ}氏^{イセ}
 雪^{イセ}接^{イセ}

う^{イセ}つ^{イセ}る^{イセ}り^{イセ}月^{イセ}や
 花^{イセ}の^{イセ}赤^{イセ}白^{イセ}
 ち^{イセ}も^{イセ}あり^{イセ}
 花^{イセ}式^{イセ}楚^{イセ}山^{イセ}



あ^{イセ}ま^{イセ}子^{イセ}ま^{イセ}あ^{イセ}あ^{イセ}あ^{イセ}
 手^{イセ}也^{イセ}く^{イセ}也^{イセ}
 楚^{イセ}山^{イセ}

蔓^{イセ}と^{イセ}つ^{イセ}る^{イセ}ま^{イセ}
 くれ^{イセ}て^{イセ}は^{イセ}此^{イセ}
 故人^{イセ}桂^{イセ}五^{イセ}
 見^{イセ}ぬ^{イセ}あり^{イセ}の^{イセ}
 其^{イセ}江^{イセ}
 夕^{イセ}家^{イセ}の^{イセ}赤^{イセ}い^{イセ}ま^{イセ}つ^{イセ}く^{イセ}や^{イセ}鳥^{イセ}氏^{イセ}
 月^{イセ}の^{イセ}あり^{イセ}ま^{イセ}う^{イセ}と^{イセ}王^{イセ}氏^{イセ}
 雪^{イセ}接^{イセ}
 う^{イセ}つ^{イセ}る^{イセ}り^{イセ}月^{イセ}や
 花^{イセ}の^{イセ}赤^{イセ}白^{イセ}
 ち^{イセ}も^{イセ}あり^{イセ}
 花^{イセ}式^{イセ}楚^{イセ}山^{イセ}

木^{イセ}川^{イセ}八^{イセ}
 公^{イセ}ト^{イセ}ヨ^{イセ}シ^{イセ}

通草
アケヒ



あけひの草
おとくを薬の自
花山

あけひの草
山の中
二泉

観音草
クニオサウ
キチヨウ



高涼文 キ上
観音草の
花山
子枕観音草をこの名東や花山
羽志志々好書写らるや観音草の子茹

海川の魚りの世をわらわらとて
平らな海を渡るの世をわらわらとて
たまたま海の中の海神は車前草
車前草や花の畦のさきへ
浦

野苳菜
オハコクサ
車前子

白木
アカヲケラフ
シロヲケラフ



栴
里
右
赤
白
花山

その名とやまを
つねしつとく

俊士

東へあり
花のほも
まふ 北山
一々
こほせや
まのほも
まふ



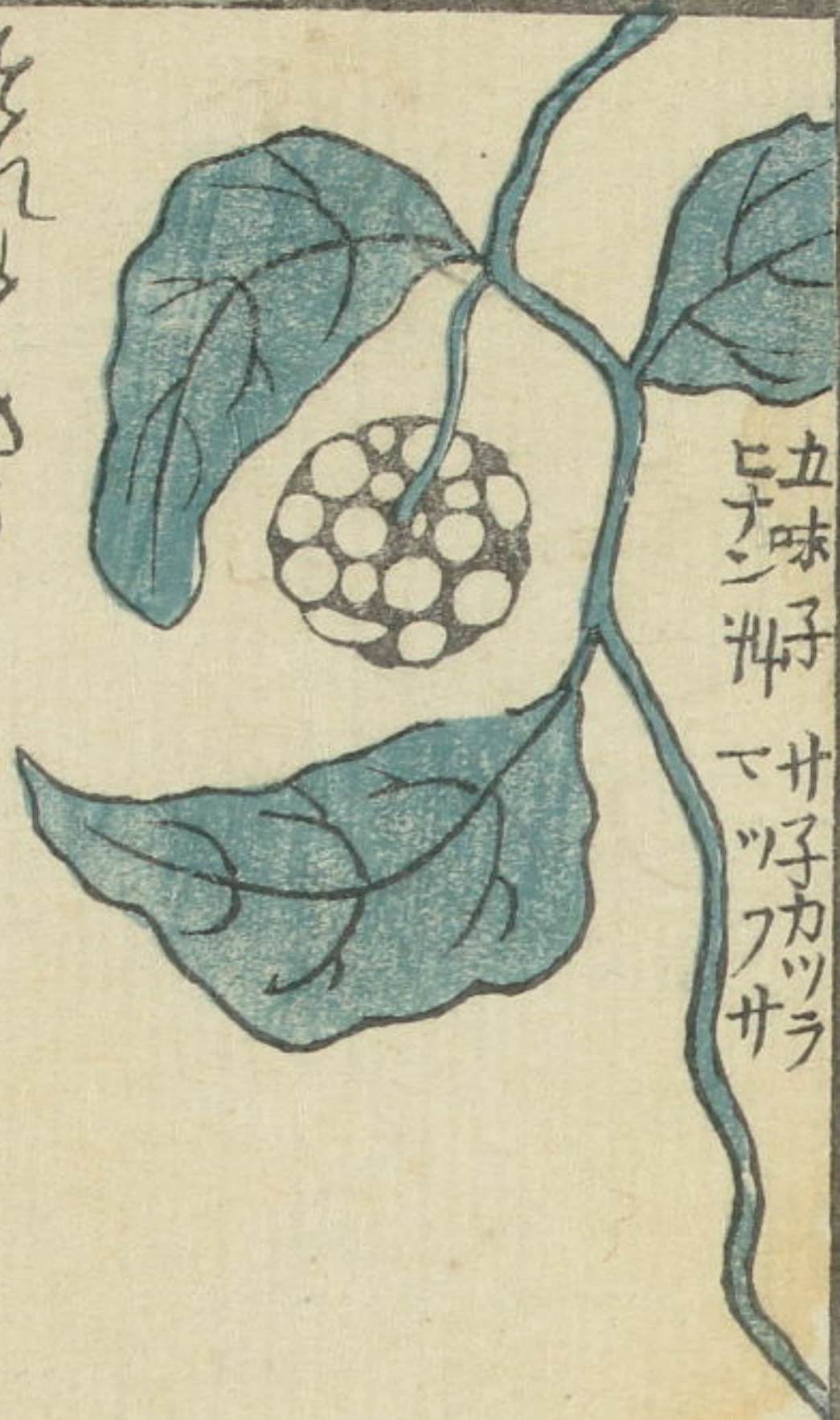
子規中
ホトキス
油煎草

苗香實
クイキヨウ
シノカモ

苗香の實の中を
もろのれ
鈴屋や苗香は実乃
花はなかく
苗香の白いま
くちる 次
香川

玉阜

五味子
サツアツラ



それとさく
さつ
女 李子競

旧のてまも
ゆきもや
松人の袖さうら
きつら
保光



縷紅
ルカウ
草羅

葉ははりの
葉はりの
葉はりの
葉はりの
葉はりの
葉はりの
葉はりの
葉はりの

保光

意のつと
せせ
め

名月の
花も
ささげ

綿留
芭蕉

山陰中家住人の
ささげもかく 舞乙こ
神の子へ 授も入り
本綿とあり 三 海あり
新雪の 花も 木綿の
好種と云 指ふ山



新綿
ワタ
綿エム
カク
木ワタ

圭
カリ
ヤス

古より毛より花を山に
うろみうろみ 花を山
ユ# 雁よ来て 花を山
刈や地を山 大雁
可りや花
小なり花を
あやうり花を 弓影



獐牙菜

千なりもけふ
振のちてらる

セト
ナリ
スルハ非



胡^コ土^ツ売^ウ法^{ホウ}
 胡^コ土^ツ売^ウ法^{ホウ}
 胡^コ土^ツ売^ウ法^{ホウ}

胡^コ花^カ白^{ハク}
 根^ネ之^ノ白^{ハク}

毎^スの^ノま^マせ^セる^ル雀^{セキ}人^{ジン}
 雨^{アメ}江^{カハ}

白^{ハク}胡^コ麻^マ



病^ヤ丁^{チヨウ}も^モ切^キ子^シれ^レ根^ネ再^サ落^{ラク}よ^ヨ大^{ダイ}雀^{セキ}
 茶^{チャ}之^ノ准^{ジュン}も^モき^キう^ウ江^{カハ}中^{チュウ}茶^{チャ}分^{ブン}草^{ソウ}雪^{セツ}光^{クワウ}
 之^シ後^ゴ復^{フク}舊^{キウ}に^ニ根^ネ之^ノ末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}

切^キ草^{ソウ}
 雀^{セキ}人^{ジン}
 雨^{アメ}江^{カハ}
 大^{ダイ}雀^{セキ}
 雪^{セツ}光^{クワウ}
 井^イ山^{サン}

井^イ山^{サン}之^ノ末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}
 其^{ソノ}白^{ハク}
 旋^{セン}露^ロ也^ヤ烟^{エン}代^{ダイ}車^{シャ}乃^ノ
 志^シの^ノ白^{ハク}
 中^{チュウ}之^ノ末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}

旋^{セン}露^ロ花^カ
 其^{ソノ}白^{ハク}
 中^{チュウ}之^ノ末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}

龍^{リウ}膽^{タン}也^ヤ其^{ソノ}末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}
 大^{ダイ}原^{ゲン}也^ヤ其^{ソノ}末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}
 川^{ケン}乃^ノ虎^コ其^{ソノ}末^{マツ}下^カ葉^{エフ}分^{ブン}子^シ井^イ山^{サン}

龍^{リウ}膽^{タン}
 大^{ダイ}原^{ゲン}
 川^{ケン}乃^ノ虎^コ



香うぬとらん 楚山
イむや 瑞ふり

何れより 秋
何れより 好り
何れより 席イ

鳥頭 附子
カトサウ
セトリカト



部 の実や 彩湖
香くもいも 彩き 女皇公

何れより 好り
何れより 好り
何れより 好り

其乃実れ 彩き 女皇公の水 香川

菱及角
菱實
菱實
水西角



新音鏡

鳳仙系 赤内 裡の 花ら 可り
切是 七実の ち母る も 彩き 風仙花 遊亀
鳳仙 花 母てる 雲の 光る 雲の 母 津盤
何れ 雲の 味さ ちる 之 風仙 花 北山

蝶も 老く
久き 中と

仙の 母

お 三カハ 花

金羽

金羽

仙の 母



仙公羽花

鳳仙花

檀特の

花も

梅

五郎子がイセ雪梅

たやくの草

五郎子の草

極よとて老母子馬より庭のあめ孤月
小庭に梅のたぐまる万葉集の
籠り音も少くもなすの梅は
心しく実の入るのたぐまる



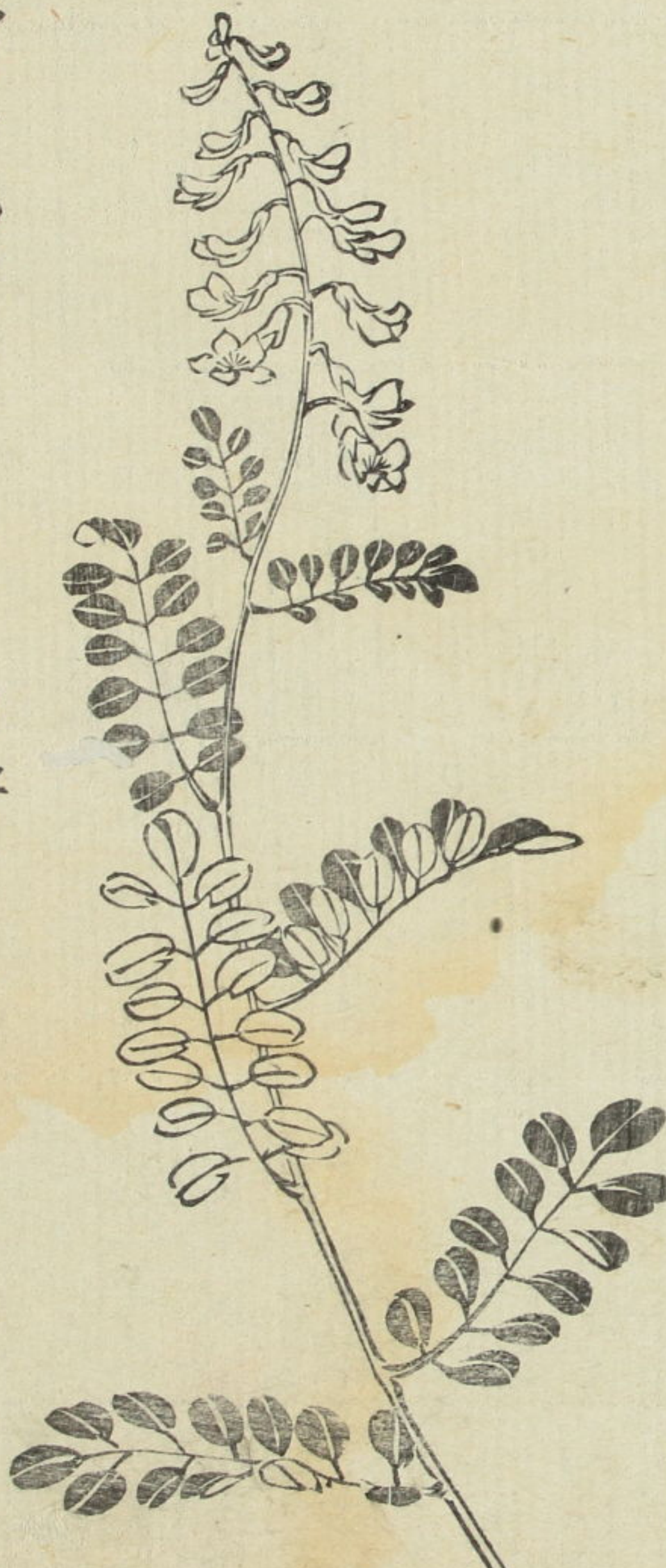
檀特草

初年
老母
子馬
イセ

山陰や晴をくわひらく
苦多遠行手子定る時
明ハ苦多をくわひらく
仮梅のさけく久き九
活久る胡蝶も又申る苦多

イセ

葦川
花鏡
楚山
梅香
朝蒲



苦参
クハラ
クサエ
クニ

粟 餅粟
つるまきり

粟の種は
その初穂を
俵に詰め
アキ 臨川

粟の布改耳に
つけしを獅子改

西粟の布や
雀袴八里の身 平年
和風

粟のかれうあくも
まじり夕暮 楚山

水取
つるまきり
ちの穂
喜ぶ
湘子

粟の
うさむら
かろり

樹苗金



幼エネ
あま

どのを
つるまきり
あま

つるまきり
千日ね
あま

あま
あま
月朗



形色
香推

蔓あつ
苦い
つるまきり

面白き
実乃
つるまきり

奇峯

千日ね

はつしめ
の
あまの
あまの



山あまのりや
 屋敷のまら
 一セ 柳堤 又えは
 山あまのりや
 屋敷のまら
 一セ 柳堤 又えは

山あまのりや
 屋敷のまら
 一セ 柳堤 又えは

山あまのりや
 屋敷のまら
 一セ 柳堤 又えは

山あまのりや
 屋敷のまら
 一セ 柳堤 又えは



二部ともお好釋刈也
百舌の生年 京都心班

釋きるや
鷲乃雛水 楚山

釋れと忍申る
小村乃小橋が大道

釋留子とく

音きく里中
又お釋とく
音よの楚山 信後田 英子

音きく里中
又お釋とく
音よの楚山

高瀬
トウキヒ

釋
ヒ
カ
ル

花のつらうれあはくを草芒
 高くと花のつらうれあはくを草芒
 松風や芒子うぬる雪月夜や
 芒とく好勝しこの名もいなり
 紫あゝ人あゝひびききく地エト
 あゝこの月をうぬるき芒あゝ、
 茶新

花のつらうれあはくを草芒
 高くと花のつらうれあはくを草芒
 松風や芒子うぬる雪月夜や
 芒とく好勝しこの名もいなり
 紫あゝ人あゝひびききく地エト
 あゝこの月をうぬるき芒あゝ、
 茶新

湖
 雪積
 炭基
 琴左
 友左
 梅土
 東道
 有車
 月秀
 蒼居

草芒
 思芒
 糸芒
 尾芒
 芒切
 十寸
 麻芒
 吉藤
 しのね



又とて日くさまやち草芒
 夕とれの花のつらうれあはく
 飯橋のやのつらうれあはく
 尾をのやのつらうれあはく
 谷あゝ草芒
 中や地草堂 糸道
 草芒
 川風
 草芒
 草芒
 草芒

草芒

かきつばた
 山の家
 風十



初観抄

山かきつばたの
 鹿の骨
 遠丁

雀変をい
 伊良古の
 磯馴堂
 楚山
 司



ハスノ花
 シテモ秋ナリ

蓮の葉の
 意の
 楚山

蓮の葉の
 意の
 楚山
 目敬

のらぬ水ささるこまの
若きみりる 北山

朝のこまの 三津人

黄蜀葵

新造のつばき

尾 果樹

山のこま

あゝえ子黄なり。 秋甫



黄蜀葵
ハロコ
シ花

露二早 月州 青花
百子とありのまをばつて
神くつろい けをいし
月影をいへ 左よまの
名アリとそ

朝くお家子也
りあまもあふ 巴陵
あゝえ終をも高料
ちさく 帰施

まうるのちを家子の世山

あゝえ

あゝえ

加苗

あゝえ 月更 五音



新吉録

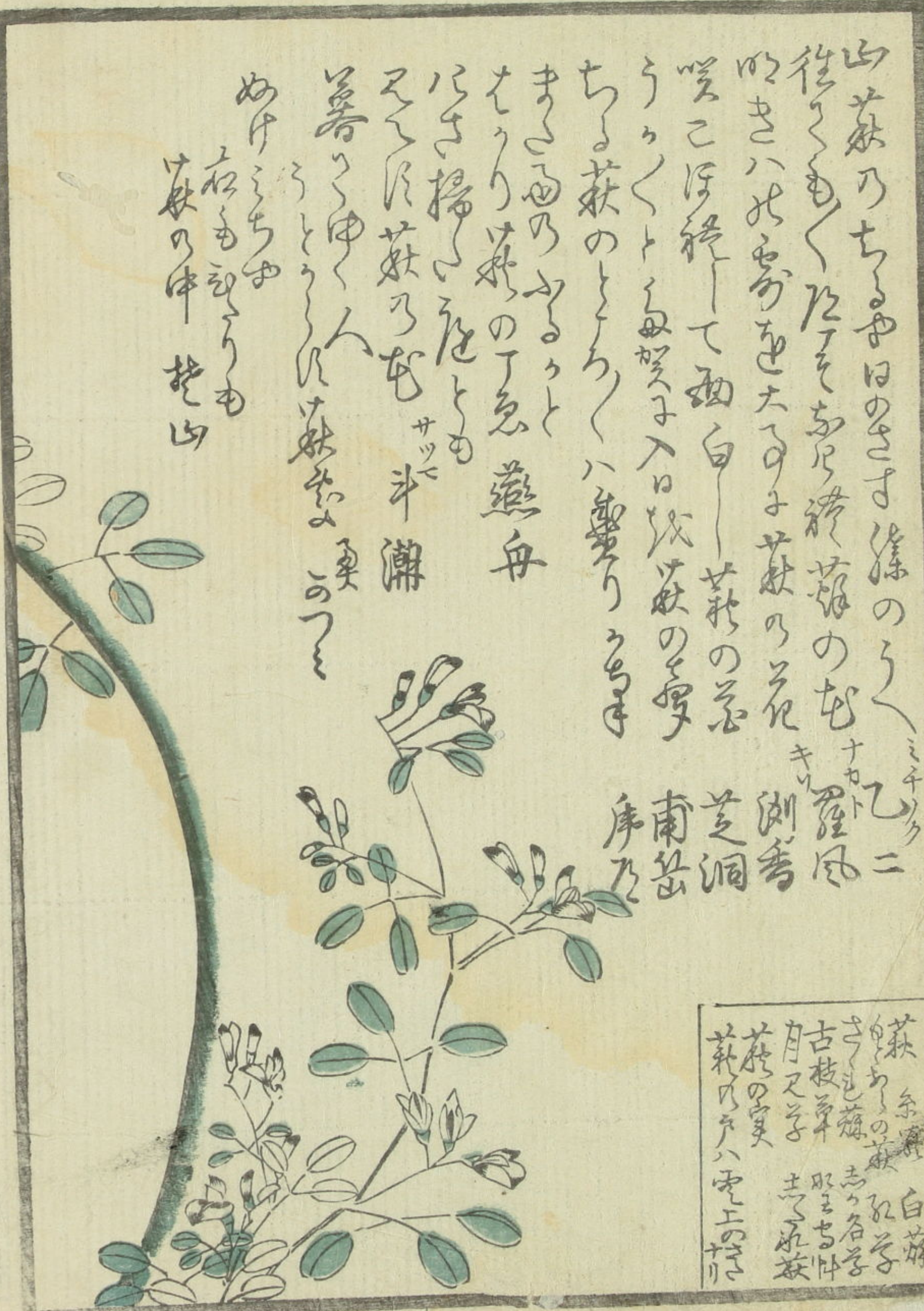


許四ハ禁九ク
 ハ禁ハヨクヲ
 ハ禁ハヨクヲ
 長ク花和コ

悔ハ夢多のむさく實さくあつうき故桂五
 小灯てらちあく字のや夢多のうらむ故乃ひ
 るまのうらむ字をひらけやさて式風也
 交りの実を夢多のうらむ三阜池
 うらむとて一むらやたてれをな女松花
 さる宮古お新うら夢多乃うら三狸川

小舟
 夢多のうらむ
 古き根の事
 桂五山

里人
 赤き水
 とくは
 夢多花
 桂五山



山萩乃ちるや日のさす篠のうら
 後くもくたそあは終萩の花
 明きハ花あをさ大るひ子萩乃うら
 咲こほ終して面白
 うらうらとてぬ子入り萩の花
 ちる萩のとてうらうらハ萩乃うら
 まさ西乃やうらうら
 とうり萩の丁急
 ばさ掃ひ花とて
 又うら萩乃花
 善うら申人
 ぬけうら
 萩乃申花山

萩
 萩乃の葉
 古枝萩
 有又子
 萩の葉
 萩乃の葉
 白萩
 萩乃の葉
 萩乃の葉
 萩乃の葉
 萩乃の葉

此竹て小くも尺せしや萩のそとありて雪雄
 萩萩の節乃らそとさきつありておとせ古
 萩の種中より六三十日のまのやと、東難
 漢萩のありてかりし必しなり、
 萩のそとありて後さきといひせし
 萩の白をいす、おとせぬ、萩の色
 をとるや萩や、お月のおまらぬ
 船書ありて、おとせぬ、萩のそと、
 漢萩のそと、さき流るる、おとせぬ、
 萩のそと、おとせぬ、おとせぬ、
 萩のそと、おとせぬ、おとせぬ、

萩ハ一モト若三
 下ノ漢萩ハ
 芦ノコトシ水辺ニ
 生ヌクセ盧萩



今幸とさす人、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、
 萩乃らそと、おとせぬ、

鹿野香草
 シヤカウツウ

白果、むハ寿命
 葉よ、鹿野香草、甫頃
 口の、よ、鹿野香草の
 全、よ、鹿野香草、楚山
 石、よ、鹿野香草、楚山
 志、よ、鹿野香草、楚山

おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山
 おう、鹿野香草、楚山



白粉花
 火

續

却さき子孫あむ
湘雨
草中
孤月
楚山
却さきやや
暑を堪ふる
遠明

不せきゆわともおれ人
多かる珠の瓦拾ひ
ふらふらにの白ひも
只人を佛
キリ
秀真
楚山



不老草
千六

菊の香

志
宿池
由
菊の香

菊の香
菊の白さう
左
流

菊の香
菊の白さう
七
地

きくが香
九
改

菊の香
菊の白さう
子
南

菊の香
菊の白さう
左
流

菊の香
菊の白さう
七
地

有餘の千石豆乃
 垣根也 呂由
 神なき中子豆也
 少るこつ 楚山
 子の實の 李漢
 袖のつき 大正のとき

有餘の千石豆乃
 垣根也 呂由
 神なき中子豆也
 少るこつ 楚山
 子の實の 李漢
 袖のつき 大正のとき



水引草

有餘の千石豆乃
 垣根也 呂由
 神なき中子豆也
 少るこつ 楚山
 子の實の 李漢
 袖のつき 大正のとき



大豆 小豆 大角豆
 千石豆 厚元豆
 畔豆 楚山豆
 文豆 燕豆
 楚山豆 厚元豆

新音鏡

金剛寺富士乃冠
 生さすことよ
 留畔乃きよ
 國名
 四柳
 楚山

狗尾草や
 とどろく雨の
 まきれ草
 楚山



狗尾草
 工部中
 大正

狼草
 大草
 金剛山
 馬
 コニチキ
 又云支蘭



枯枝り
 和潮
 芭蕉
 中水次
 穴周
 芭蕉
 指打り
 芭蕉
 新吉鶴
 芭蕉

新吉鶴
 芭蕉



鬼燈

鬼燈をあら
くさくさ
まじり 志江一猪

ほろをまや
実のあけ
くさくさ
月朝

鬼灯や
虫乃食ら
奉ら
楚山

鬼灯此細や
ちささい
あ
茶朝

あつた
徐英

新言

めえきや
目くらや
志江山乃
見 玉阜
子休 志よ
目くら
子も好の
草 士鳳
首母子や
柳のこたの
石佛 楚山
こい鏡子よ
目くら 草と
益母 柳康



益母草

赤花のふらふら
雲の戸也
赤花のふらふら
さす
赤花
さす
東雲

辨慶

この子の...
張...
あはれ...
菊順



加苗
の...
ま...
の...
あ...
あ...

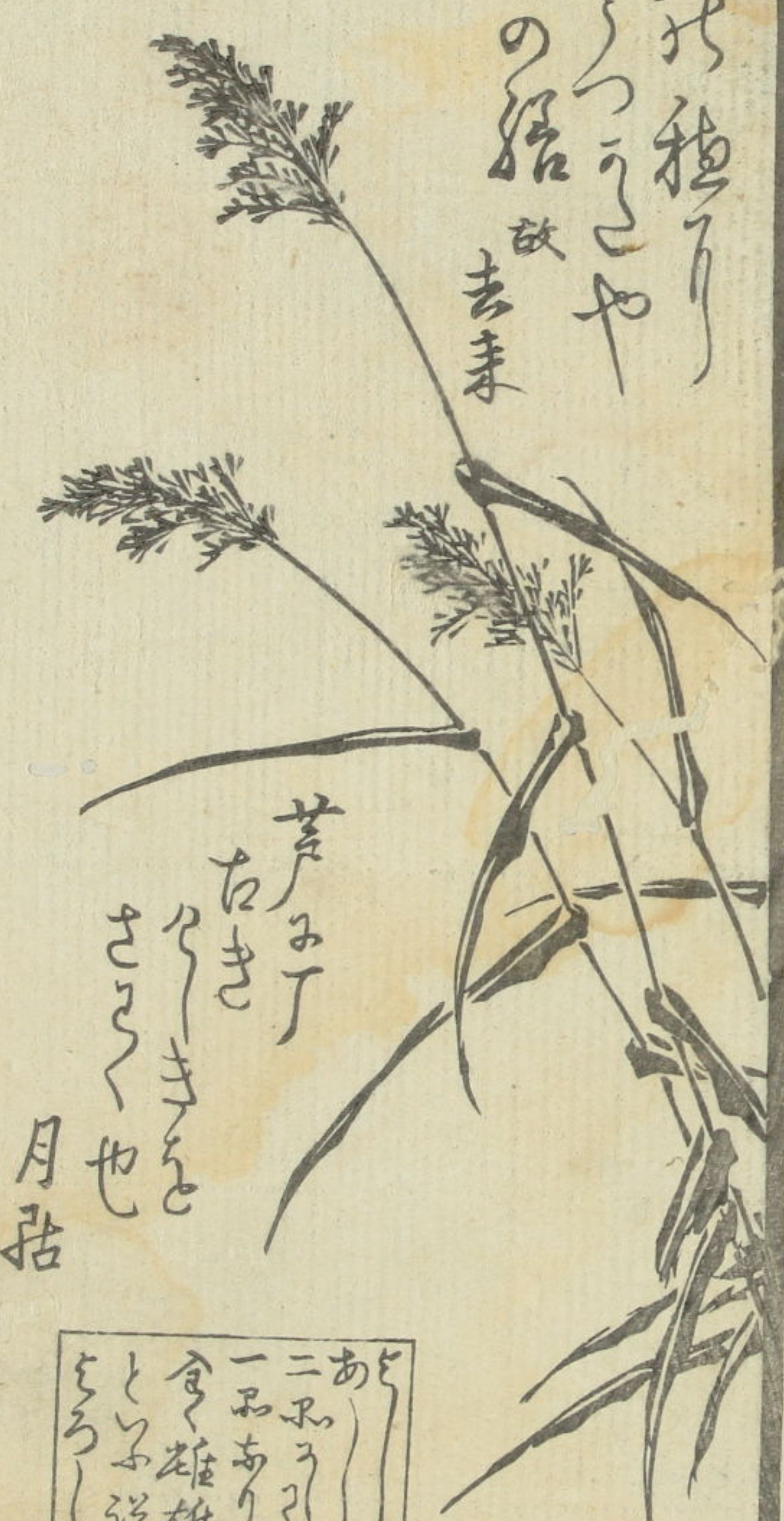
さ...
あ...
の...
あ...

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

葛根...
クツ...



あ...
あ...
あ...
あ...



あ...
あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

あ...
あ...
あ...
あ...
あ...

不燈らりし
葉のむらさ
花めりし

物忘色
すまふ
やうつ花
めりし

仙士
总若若
えり
こまれ
こる
言麻式
楚山



雨風をくくし
葉のむらさ
花鏡

新七カ
苗ホル

花若荷
メナカ子

新書鶴

赤ハ葉のまこ
なりし
可盈

夜百し
こ風をらて
かいりし葉 席十

朝うけや
まのむらさ
かいりし

口替者
かいりし
大雀



小葉
カイヤリ
間引菜

タニイタキ
地榆

七色もかり
なりく亦亦香
大雀

葉小似て
地榆ハ
寂しき
り香
楚山



七日子咲く交は亦香
三日月の生白字也や亦香
我毛香亦香の連てりささり
りくなきり香くくまれもかり
香持て白ふやあり吾もかり
風さる小くもかり月の亦香

白江
三甫
甫岳
南岳
其白
呂百
楚山

我亦香
地榆千六
三毛根
香各分下
りくなきり香くくまれもかり
香持て白ふやあり吾もかり
風さる小くもかり月の亦香

草花にや有子すれり
すくたちや辻と云佐のこも
川穀米や藜乃稷乃好り
すく玉乃西子くくり
中々世に藜乃杖身
あり日まき
まきちの
藜ハ杖子
なり
黄雅照
尼ちれうらり
手入りあきり
芋先の
鳥に
紫まつやの
むく実まこほり藜乃
楚山

秋甫
楚山
玉阜
箕張

草花仁
川穀米



花もろい
土のまじ
蕙草
葵素磔



蕙草
垣衣

人まじり川
志のふきも
志のふきも

志のふきも
香菊
志のふきも
国分

谷のふき
音や
蕙草

好子の
あひ
結も
四ひ子一仙

化粧の
うけて
志のふき

新思子美子
志のふき
女雪光
おりの子
志のふき



列當
オモロ
思草
キセル

牛蒡積る牛を麻させ
山島や葉の本此
牛蒡のふき
周王
故山



牛蒡
オモロ
思草
キセル

仙臺
 山ノ下
 草
 14085
 14086
 14087
 14088
 14089
 14090
 14091
 14092
 14093
 14094
 14095
 14096
 14097
 14098
 14099
 14100

山人堂
 草
 14085
 14086
 14087
 14088
 14089
 14090
 14091
 14092
 14093
 14094
 14095
 14096
 14097
 14098
 14099
 14100

仙臺
 山ノ下
 草
 14085
 14086
 14087
 14088
 14089
 14090
 14091
 14092
 14093
 14094
 14095
 14096
 14097
 14098
 14099
 14100



桂
女

